

情報公開文書において通知または公開する事項

(オプトアウト用 Web ページおよび研究対象者のリクルートの案内文に使用する)

389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399

1. 研究の名称
 ICU に勤務する医療従事者におけるバーンアウトおよび仕事上の充実感に対する遠隔 ICU 支援の影響
2. 倫理審査と許可
 神戸市看護大学研究倫理委員会の審査、神戸市看護大学の学長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名等

研究機関の名称	研究責任者氏名	所属	職位
神戸市看護大学	佐藤隆平(研究代表者)	急性期看護学分野	准教授
近畿大学	櫻本秀明	医学部・病院運営本部 看護学部設置準備室	教授
横浜市立大学附属病院	出井真史	麻酔科・集中治療部	准教授

400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432

4. 研究の目的・意義
 遠隔 ICU は遠隔医療のひとつであり、集中治療に成熟した医療従事者が協力して重症患者における医療体制を提供する、ビデオ音声通話やコンピュータシステムなどを用いた集中治療における診療支援システムです。これまで、遠隔 ICU の導入により患者の ICU 滞在日数や死亡率が減少することが報告されています。
 患者をケアする ICU の医療従事者は、燃え尽き症候群(バーンアウト)のリスクが高く、その有病率は 40%を超えると報告され、離職や患者の安全などに影響を及ぼす可能性があるため急務な課題です。そのような中、遠隔 ICU 導入後に職業満足度やコミュニケーションの質が改善されたという報告や遠隔 ICU 導入後 ICU 患者の電子カルテへの医師のアクセス頻度が減少したという報告がなされました。よって、遠隔 ICU の支援により、支援を受ける被支援施設に勤務する医療従事者において、働き方に良い影響があることが推測されますが、全国規模で調査した研究は存在していません。そこで、本研究は、遠隔 ICU による支援の有無が ICU に勤務する医師及び看護師のバーンアウト及び仕事上の充実感に与える影響を明らかにします。本研究を通じ、今後の ICU の医療従事者の支援体制の構築に資する基礎資料が得られると考えています。
5. 研究実施期間
 研究機関の長(学長)の実施許可日から 2026 年 7 月 31 日
6. 対象となる情報の取得期間
 研究機関の長(学長)の実施許可日以降の 1 か月間(2025 年 9 月から 10 月の間)Web 調査に回答された方の情報を取得します。
7. 情報の利用目的・利用方法
 対象者の選択基準は、ICU(特定集中治療室管理料 1~6、救命救急入院料 2・4、小児特定集中治療室管理料を算定する治療室)に勤務する医師と看護師です。除外基準はありません。本研究では、バーンアウトおよび仕事上の充実感のスコアについて、遠隔 ICU 被支援施設であり、かつ 6 か月以上支援期間がある群を遠隔 ICU 被支援施設群(支援期間 6 か月以上)、それ以外群とし 2 群の比較および要因の影響度を分析します。本研究においてはインターネット調査を採用し、SurveyMonkey®を使用します。日本集中治療医学会 Clinical Trial Group の多施設研究支援に申請し学会会員のメーリングリストおよび特定非営利活動法人日本集中治療教育研究会のメーリングリストを利用し、URL または QR コードを配信し研究対象者を募集します。NPO 法人集中治療コラボレーションネットワークに遠隔 ICU 被支援施設の紹介を依頼し、被支援施設の施設長へ研究協力依頼文書を郵送します。

送付した研究協力依頼文書を読み、施設長において研究協力を協力が得られる場合、ICU 部長および看護師長より、ICU に勤務する医師および看護師の人数を教えてもらい、人数分の資料を郵送し配布依頼をします。研究対象者が回答したデータを SurveyMonkey®からダウンロードして取得し分析します。

8. 利用情報の項目

1. ICU の種別
2. 集中治療医の関与度
3. ICU の病床数
4. 所属施設の地域
5. 職業
6. 職業における経験年数
7. 現在の年齢
8. ICU での経験年数
9. 性別
10. 配偶者の有無
11. 子供の有無
12. 日本語版 Ten Item Personality Inventory スコア
13. 遠隔 ICU 被支援医療施設の有無
14. 遠隔 ICU モデルの種類
15. 遠隔 ICU から支援を受けている期間
16. 直近 1 カ月間で遠隔 ICU から支援を受けた回数
17. 日本語版 Professional Fulfillment Index スコア
18. Japanese version of Job Content Questionnaire 22 スコア
19. 1 か月あたりの時間外・休日労働時間

9. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

位置づけ	所属	氏名	役職
研究責任者	神戸市看護大学急性期看護学分野	佐藤隆平	准教授
共同研究者	神戸市看護大学急性期看護学分野	森山美香	教授
共同研究者	神戸市看護大学急性期看護学分野	佐藤智夫	助教
共同研究者	神戸市看護大学急性期看護学分野	川畑美貴	助教
共同研究機関施設研究責任者	近畿大学医学部・病院運営本部看護学部設置準備室	櫻本秀明	教授
共同研究機関施設研究責任者	横浜市立大学附属病院 麻酔科・集中治療部	出井真史	准教授
共同研究者	横浜市立大学附属病院 麻酔科・集中治療部	川畑慶一郎	医師
共同研究者	神戸市看護大学学部生	河上渚紗	学部生
共同研究者	神戸市看護大学学部生	小高莉子	学部生

10. 情報の管理について責任を有する者の氏名

佐藤隆平

11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

送信前に回答ページを閉じることで回答を拒否することができます。本研究は個人情報を取得しない研究です。そのため個人の回答を特定できないので送信後に回答を撤回はできません。

12. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

- 471 研究計画書の閲覧を希望される場合、相談窓口にご連絡をもらい、研究の独自性を損なわない範囲で
472 閲覧することが可能です。
473
- 474 13. 研究資金・利益相反
475 1) 研究資金の種類および提供者
476 2025年度III研究助成(公益財団法人 テルモ生命科学振興財団)申請中
477 2) 提供者と研究者との関係
478 資金提供者は、すべての研究者と関係はなく、研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与はあ
479 りません。
480 3) 利益相反
481 本研究課題について、すべての研究者に利益相反はありません。神戸市看護大学研究インテグ
482 リティ・マネジメント委員会で審査しています。
483
- 484 14. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法
485 以下が相談窓口です。メールあるいは電話でお問合せください。可能な限り早急にご返答いたしま
486 す。研究結果について希望される場合も下記へご連絡ください。
487 神戸市看護大学療養生活看護学領域急性期看護学分野准教授 佐藤隆平 研究室 3-21
488 TEL: 078-794-8093
489 E-mail: r-sato@kobe-ccn.ac.jp
490
- 491 15. 負担・リスク
492 予測回答所要時間が約 10 分であるため時間的負担が生じます。回答時研究対象者に通信料が発生
493 する可能性があります。回答者によっては質問文により不快と感ずる可能性もありますが、途中で
494 回答ページを閉じることによって回答をやめることも可能です。